

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
歯科衛生専門課程	歯科衛生学科	夜・通信	46 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校1階にある図書室・教務室で一覧表を保管し、外部から閲覧希望があった場合には、同じ図書室・教務室で開示している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校1階にある図書室・事務室にて誰でも閲覧が可能となっている。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	東京大学経済学部卒 元三菱銀行勤務 現会社経営者	2019.4.1～ 2023.3.31	教育内容に対する 専門的な知見 経営計画の策定
非常勤	慶應大学総合政策学部 卒 幼稚園理事	2019.4.1～ 2023.3.31	組織運営体制への チェック機能・財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書の作成について】 各授業科目については、毎年度教務会議により講義内容について検討し改善した上で、各教科担当の教員により作成を行なっている。 また、授業計画書は全科目共通の項目(授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、講義内容、成績評価方法、教科書および参考書に関する事項)を記載することとしている。</p> <p>【公表について】 翌年度の講義予定(授業計画)については、授業開始半年前に担当教員が作成し、講義開始前に学生へ配布している。また、図書室の書架コーナー・講師室・教務室でも閲覧ができるようにしている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校1階の図書室・教務室で一覧表を保管し、外部から閲覧希望があった場合は、同じ図書室・教務室で開示している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。授業科目の試験（レポート等を含む）により、成績評価を行っている。

(参考)

学則第15条

校長は、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき学科目について学年末または学期末に試験を行う。

2. 試験の成績の評価は、100点を満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とする。
4. 当該学年の出席すべき日数の3分の1以上欠席した者は、進級または卒業をすることができない。
5. 欠席日数が該当学年の出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目および学習に係る出席時間数が定める時間数に満たない者は、必要な補修を受けた上でないと、進級または卒業することができない。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

授業計画書（シラバス）において、各授業科目の成績評価基準等を掲載している。学業成績は、授業科目を履修し授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験など）によって評価される。

当校では各授業の評価を100点満点を基準として、優（100～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）の4種をもって表し、優・良・可を合格、不可を不合格としている。合格した者には、所定の単位が与えられる。

成績評価方法については、入学時に学生生活の手引きを配布し、オリエンテーションで入学生に周知させている。図書室・講師室・教務室において誰でも閲覧できる。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生へは入学時に学生生活の手引きを配布している。本校1階の図書室・教務室で一覧表を保管し、外部から閲覧希望があった場合には、同じ図書室・教務室で開示している。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校は、即戦力となる専門職の養成を掲げ、現場主義の教育を実践し、社会に貢献することを目的としている。

卒業の認定については、本校の過程を修了し、所定学科目の全単位修得者について、卒業審査会で審査を行い、卒業認定がおりた者には、卒業証書を授与することを定めている。詳細については、学則、学校生活の手引等に記載しており、各学年のオリエンテーションで説明を行っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生へは入学時に学生生活の手引きを配布している。また、図書室・講師室・教務室で誰でも閲覧が可能となっている。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月中に最新情報を学内（図書室・事務室）で閲覧用のファイルを公開している。
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		歯科衛生専門課程	歯科衛生	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2715 単位時間/単位	1545 単位時間/単位	90 単位時間/単位	900 単位時間/単位	180 単位時間/単位	
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		143人	0人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要)
 授業により、講義内容のまとめのプリントやミニテストなどを随時行っている。また、試験前などには学びの時間を設け、専任教員などへの相談や自己学習の時間に充てている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	人 (%)	19人 (90.4%)	2人 (9.5%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 夏休み前にアンケートを実施し、希望就職先を確認。また、修飾ガイダンスも同時に実施し、就職活動における注意事項を確認した。また、歯科医院や卒業生による歯科医院の紹介も実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家資格取得 医療事務管理士（歯科）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2020年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107人	3人	2.8%
(中途退学の主な理由) 学業不振、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本校では、3年の就業年限のうち1年次の中退者の割合が高いため、入学してから夏休み前までに担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、遅刻、欠席回数が多い学生には、早い段階でご家庭へご連絡し、保護者を含めての面談を実施するなど、連携を密にとり中退防止の対策をとっている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生	300,000 円	550,000 円	560,000 円	実習費、施設設備費、教科書、実習機材費等を含む
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度の評価書類を閲覧用に1冊のファイルにまとめ、図書室で誰でも閲覧できるようにしている。外部から閲覧希望があった場合は、図書室で誰でも閲覧可能。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、実習先歯科医院の歯科医師、本校在学中の学生保護者、本校の卒業生による学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行なっている。 評価内容については、教務委員会、理事会などで報告され情報の共有を行なっている。そして、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
歯科医院	2021. 4. 1～2022. 3. 31	歯科医師
歯科医師	2021. 4. 1～2022. 3. 31	学生保護者
歯科医院	2021. 4. 1～2022. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価については、閲覧用に1冊のファイルにまとめ、図書室で誰でも閲覧できるようにしている。外部から閲覧希望があった場合は、図書室で誰でも閲覧可能。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://apollogakuen.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	アポロ歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人アポロ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		11人	12人	12人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	0人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				12人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。